



**アプリ作成チュートリアル  
～作ってみようバッチアプリ～**

第 1.0 版 2022 年 4 月 20 日発行

株式会社  
中電シーティーアイ

■ 変更履歴

版数	変更日	変更内容
1.0	2022/4/20	初版発行

## 目次

1	はじめに .....	1
1.1	本書の位置付 .....	1
2	準備 .....	1
2.1	アプリ作成 URL にログイン .....	1
2.2	アプリパッケージのインストール .....	2
2.3	転送部品の修正 .....	5
3	作成方針 .....	6
3.1	バッチアプリとは .....	6
3.2	作成方針 .....	6
4	アプリの作成 .....	7
4.1	アプリの新規作成 .....	7
4.2	メール配信部品の追加 .....	9
4.3	フロー設定 .....	14
5	動作確認 .....	15
5.1	テストデータの登録 .....	15
5.2	アプリ実行 .....	16
5.3	テストデータ修正 .....	17
5.4	アプリ再実行 .....	17
6	ログの見方 .....	18
7	テストモード .....	20
8	起動条件の設定 指定日時に定期的に実行する .....	22
9	アプリ応用のヒント 前日通知、未実施通知 .....	23

## 1 はじめに

### 1.1 本書の位置付

想定読者：アプリ作成者

本書は、アプリ作成画面でのバッチアプリ作成について、説明する。

各項目においての詳細な説明はイット builder アプリ作成ガイドブックなど、マニュアルに記載しているため本書では省略する。

## 2 準備

### 2.1 アプリ作成 URL にログイン

- ・ログイン ID、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックする。



ログインID  
demo

パスワード  
●●●●●●●●

ログイン

ログインIDをお忘れの方は、[こちらから検索してください。](#)  
パスワードをお忘れの方は、[こちらから再設定してください。](#)

**お知らせ**

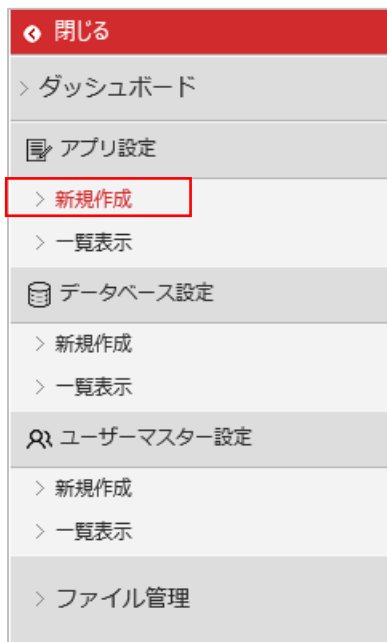
イットbuilder  
カンタン・使える を体験してください。

Copyright (C) Chuden CTI Co.,Ltd. All rights reserved.

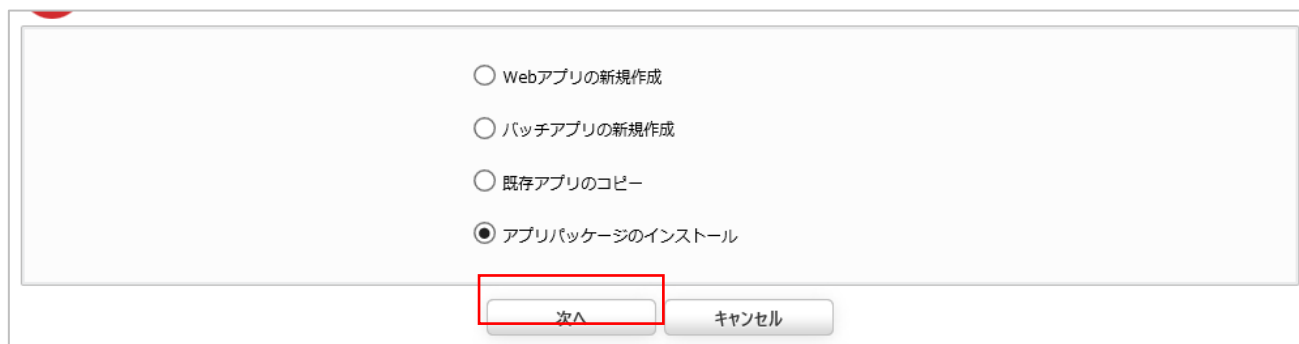
## 2.2 アプリパッケージのインストール

当該アプリパッケージ（【チュートリアル】バッチ.itbld）を以下の手順でインストールすることで、本チュートリアルに必要なデータベースなどが取り込まれる。

- ・画面左上の[menu]から、アプリ設定の[新規作成]をクリックする。



- ・「アプリパッケージのインストール」を選択し、[次へ]をクリックする。



- ・[参照]をクリックし、「【チュートリアル】バッチ.itbld」を選択し、[次へ]をクリックする。

アプリパッケージインストール

STEP1 アップロード STEP2 アプリ設定

アプリパッケージファイル 必須 C:\Users\E19054\Desktop\バッチ管理アプリパッケージ.itbld 参照...

次へ 戻る キャンセル

2. [次へ]をクリック

1. パッケージを選択

- ・アプリと関連データベースがインストールされるので、[作成]をクリックする。  
アプリ名称、URL、データベース名は、任意に変更可能。

アプリパッケージインストール

STEP1 アップロード STEP2 アプリ設定

アプリ

【チュートリアル】作業予定管理 https://cti.it-builder.jp/app/pfr\_kanri/ sgayo\_kanri /

【チュートリアル】作業予定表示 https://cti.it-builder.jp/app/pfr\_kanri/ sagyo\_hyouji /

データベース名

【チュートリアル】作業計画

作成 戻る キャンセル

3. [作成]をクリック

- ・アプリとデータベースがインストールされる。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	ネット公開	URL	最終更新日時	メモ
74	【チュートリアル】作業予定表示	停止	公開	sagyo_hyouji	2022/03/30 09:30:10	
73	【チュートリアル】作業予定管理	停止	公開	sgayo_kanri	2022/03/30 09:30:10	

データベース一覧

削除 コピー データベース作成

10 件表示

ID	データベース名	アプリ利用有無	メモ
66	【チュートリアル】作業計画	あり	

※実際の ID 番号は、状況によって異なる。

<input type="checkbox"/>	アプリ部品
<input type="checkbox"/>	A001 データ一覧表示画面 <a href="#">作業一覧</a>
<input type="checkbox"/>	A002 データ入力画面 <a href="#">作業予定入力</a>
<input type="checkbox"/>	A003 入力データ確認画面 <a href="#">作業予定確認</a>
<input type="checkbox"/>	A004 データ詳細表示画面 <a href="#">作業予定詳細</a>
<input type="checkbox"/>	A005 データ入力画面 <a href="#">作業予定更新</a>

#### <アプリ：作業予定管理>

- ・作業予定を登録して管理するアプリ。
- ・登録画面と更新画面を持つ。
- ・作業完了時は、作業完了フラグを設定する。
- ・作業日が到来した際のリマインド機能が望まれている。

<input type="checkbox"/>	アプリ部品
<input type="checkbox"/>	A007 検索条件追加 <a href="#">検索条件追加</a>
<input type="checkbox"/>	A004 データ詳細表示画面 <a href="#">作業予定詳細</a>
<input type="checkbox"/>	A008 転送 <a href="#">転送</a>

#### <アプリ：作業予定表示>

- ・URL パラメータで管理番号を指定し、直接、作業予定詳細を表示するアプリ。（URL パラメータ：No）
- ・作業予定管理アプリを呼び出せる。

（URL パラメータの利用方法については「アプリ作成チュートリアル～作成してみようノウハウ管理～」を参照）

<input type="checkbox"/>	データ項目
<input type="checkbox"/>	D001 自動連番 <a href="#">管理番号</a>
<input type="checkbox"/>	D002 テキスト（1行） <a href="#">作業名称</a>
<input type="checkbox"/>	D003 テキスト（複数行） <a href="#">作業内容</a>
<input type="checkbox"/>	D004 日付 <a href="#">作業日</a>
<input type="checkbox"/>	D005 テキスト（1行） <a href="#">作業者</a>
<input type="checkbox"/>	D006 テキスト（1行） <a href="#">作業者メールアドレス</a>
<input type="checkbox"/>	D007 択一選択 <a href="#">作業完了フラグ</a>

#### <データベース：作業計画>

- ・作業計画を登録するデータベース。
- ・管理番号は、データ登録時に自動発番される。

## 2.3 転送部品の修正

インポートした【チュートリアル】作業予定表示アプリの転送部品内の URL を、インポートした環境に合わせて修正する。

アプリ設定 74 【チュートリアル】作業予定表示

[https://cti.it-builder.jp/app/pfr\\_kanri/sagyo\\_hyouji](https://cti.it-builder.jp/app/pfr_kanri/sagyo_hyouji)

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新 変更

アプリ部品

- ☐ A007 検索条件追加 検索条件追加
- ☐ A004 データ詳細表示画面 作業予定詳細
- ☒ A008 転送 転送

機能設定

アプリ部品ID A008

アプリ部品種別 転送

アプリ部品名 必須 転送

転送先URL 必須 [https://cti.it-builder.jp/app/tutorial/sagyo\\_kanri](https://cti.it-builder.jp/app/tutorial/sagyo_kanri)

稼働中 停止

1. クリックする

アプリ設定 74 【チュートリアル】作業予定表示

[https://cti.it-builder.jp/app/pfr\\_kanri/sagyo\\_hyouji](https://cti.it-builder.jp/app/pfr_kanri/sagyo_hyouji)

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新 変更

アプリ部品

- ☐ A007 検索条件追加 検索条件追加
- ☐ A004 データ詳細表示画面 作業予定詳細
- ☒ A008 転送 転送

機能設定

アプリ部品ID A008

アプリ部品種別 転送

アプリ部品名 必須 転送

転送先URL 必須 [https://cti.it-builder.jp/app/pfr\\_kanri/sagyo\\_kanri](https://cti.it-builder.jp/app/pfr_kanri/sagyo_kanri)

稼働中 停止

2. インポートした環境の URL に合わせる

3. [変更]をクリックする

### 3 作成方針

#### 3.1 バッチアプリとは

バッチアプリとは、画面を持たないアプリであり、サーバ上で実行される。

#### 3.2 作成方針

当日の作業予定をメールで通知するアプリを作成する。

通知する条件・・・作業日=今日 かつ 作業完了フラグ=作業前

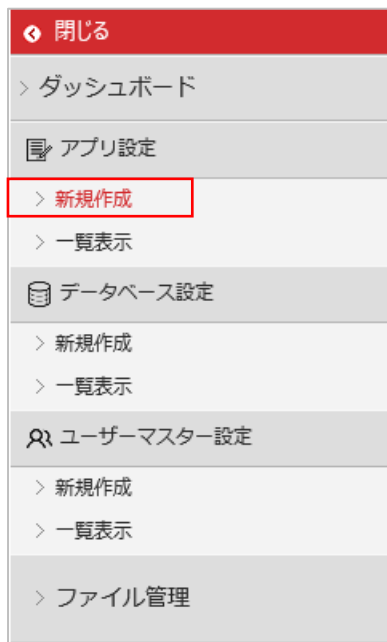
メール配信宛先・・・DB 項目の作業者メールアドレス

その他・・・・・・・・・・メール本文に、対象作業を直接表示するアプリ URL を記載

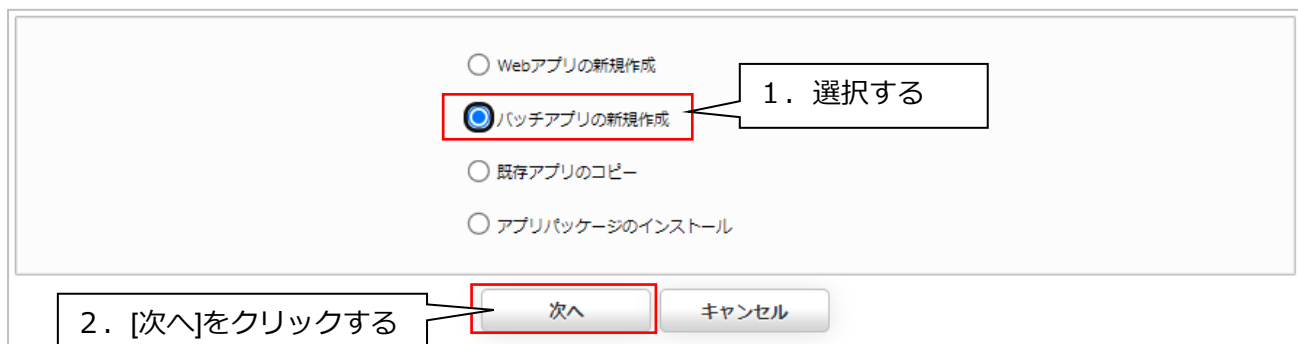
## 4 アプリの作成

### 4.1 アプリの新規作成

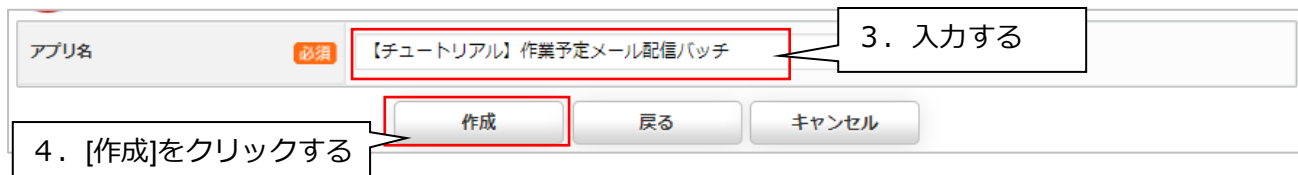
- 画面左上の[menu]から、アプリ設定の[新規作成]をクリックする。




- [バッチアプリの新規作成]を選択し、[次へ]をクリックする。



- アプリ名に「【チュートリアル】 作業予定メール配信バッチ」と入力し、[作成]をクリックする。



- ・ 空のバッチアプリが作成される。

 **アプリ設定**

75 【チュートリアル】 作業予定メール配信バッチ

有効 ☒ 無効 ☐

!

部品を追加しアプリを作成してください。


全般


**アプリ部品**

フロー

関連リンク

+ 追加

 削除

 コピー

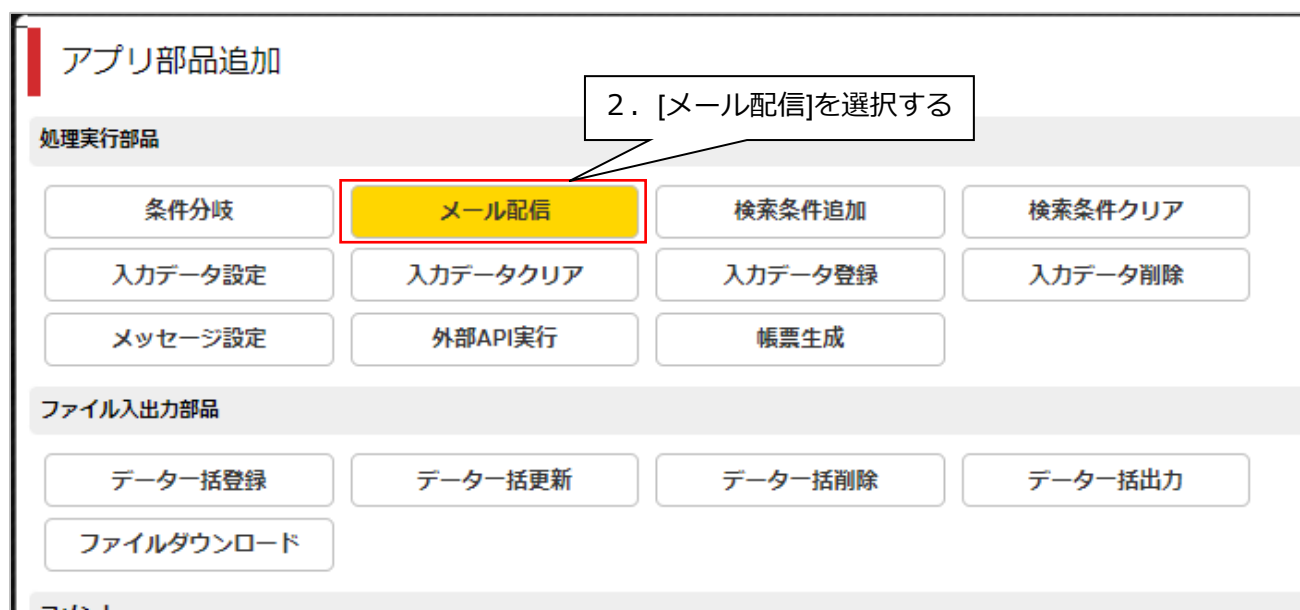
並順更新

☐

**アプリ部品**

## 4.2 メール配信部品の追加

- メール配信部品を追加する。



・まず、メール配信部品の配信先を設定する。

1. クリックする

2. 選択する

3. 「【チュートリアル】 作業計画」、「作業 者メールアドレス」を選 択する

4. 選択する

5. クリックする

6. 作業日の条件を設定する

7. クリックする

7. クリックする

作業日=システム日 時(YYYY/MM/DD) のデータを対象と する

8. もう1度、クリックする

9. 作業完了フラグの条件を設定する

絞り込み条件設定

対象	必須	66 【チュートリアル】 作業計画	D007 作業完了フラグ
条件	必須	のいずれか「IN」	
値		固定値	作業前

作業完了フラグ=作業前 のデータを対象とする

10. クリックする

追加 キャンセル

11. [変更]をクリックする

変更

機能設定 配信先

配信先

☐ 画面（処理）で入力されたメールアドレスに配信する  
☐ 以下のメールアドレスに配信する  
☒ データベースのメールアドレスに配信する

項目 66 【チュートリアル】 … x D006 作業者メールア… x

☐ 全件を対象とする ☒ 条件で絞り込む

追加 コピー 削除

抽出条件

<input type="checkbox"/>	「D004:作業日」がシステム日時「-0年」と等しい「=」	編集
<input type="checkbox"/>	「D007:作業完了フラグ」が「作業前」のいずれか「IN」	編集

・続いて、メール配信部品を機能設定する。

1. クリックする

2. 「当日メール配信」

3. 「作業計画アプリ」

4. 「【リマインド】作業当日です」

5. 本文を設定する。  
【管理番号】～【作業者】  
に **[置換タグの挿入]**を設定  
する（後述）

6. 作業予定表示アプリ URL?No=置  
換タグ<管理番号>

7. [変更]をクリック

変更

機能設定

アプリ部品ID: A001

アプリ部品種別: メール配信

アプリ部品名 **必須**: 当日メール配信

差出人アドレス **必須**: info @ cti.it-builder.jp

差出人名: 作業計画アプリ

返信アドレス:

件名 **必須**: 【リマインド】作業当日です

本文 **必須**

作業担当者 殿  
本メールは、作業計画アプリが自動発信しています。  
本日、作業日となりますので、リマインドします。  
【管理番号】 {DATA:120,66,D001, [チュートリアル] 作業計画 管理番号}  
【作業名称】 {DATA:120,66,D002, [チュートリアル] 作業計画 作業名称}  
【作業内容】 {DATA:120,66,D003, [チュートリアル] 作業計画 作業内容}  
【作業者】 {DATA:120,66,D005, [チュートリアル] 作業計画 作業者}  
作業完了後は、下記URLから、作業完了フラグを更新してください。  
https://cti.it-builder.jp/app/pfr\_kanri/sagyo\_hyouji?No={DATA:120,66,D001, [チュートリアル] 作業計画 管理番号}  
本メールは、送信専用です。返信にはお答えできませんのでご了承ください。

置換タグの挿入

<置換タグの挿入方法> 管理番号の挿入

1. 挿入したい位置にカーソルをおく

2. [置換タグの挿入]をクリック

本文 **必須**

作業担当者 殿  
本メールは、作業計画アプリが自動発信しています。  
本日、作業日となりますので、リマインドします。  
【管理番号】 |

置換タグの挿入

**置換タグ挿入**

置換データの取得元を選択してください。

☐ 画面（処理）で入力された値
 ☒ データベースから取得した値

3. [データベースから取得した値]を選択

配信先の「データベースのメールアドレス」で指定したメールアドレスに紐づくデータを、件名および本文に挿入するための置換タグです。

以下データ項目のデータに置換します。

66 【チュートリアル】 作業計画

4. 管理番号を選択

D001 管理番号

5. [挿入]をクリック

挿入

本文

必須

作業担当者 殿  
本メールは、作業計画アプリが自動発信しています。  
本日、作業日となりますので、リマインドします。

6. カーソル位置に置換タグが挿入される

【管理番号】 {DATA:120,66,D001,【チュートリアル】 作業計画 管理番号}

置換タグの挿入

※同様に、【作業名称】 【作業内容】 【作業者】に置換タグの挿入を設定する。

#### <メール本文の例>

置換タグを<>で簡易に表記している。また、URL はアプリ稼働環境により異なる。

作業担当者 殿  
本メールは、作業計画アプリが自動発信しています。  
本日、作業日となりますので、リマインドします。

アプリからの自動発信であることを記載するとよい

【管理番号】 <管理番号>  
【作業名称】 <作業名称>  
【作業内容】 <作業内容>  
【作業者】 <作業者>

返信にはお答えできないことを記載するとよい

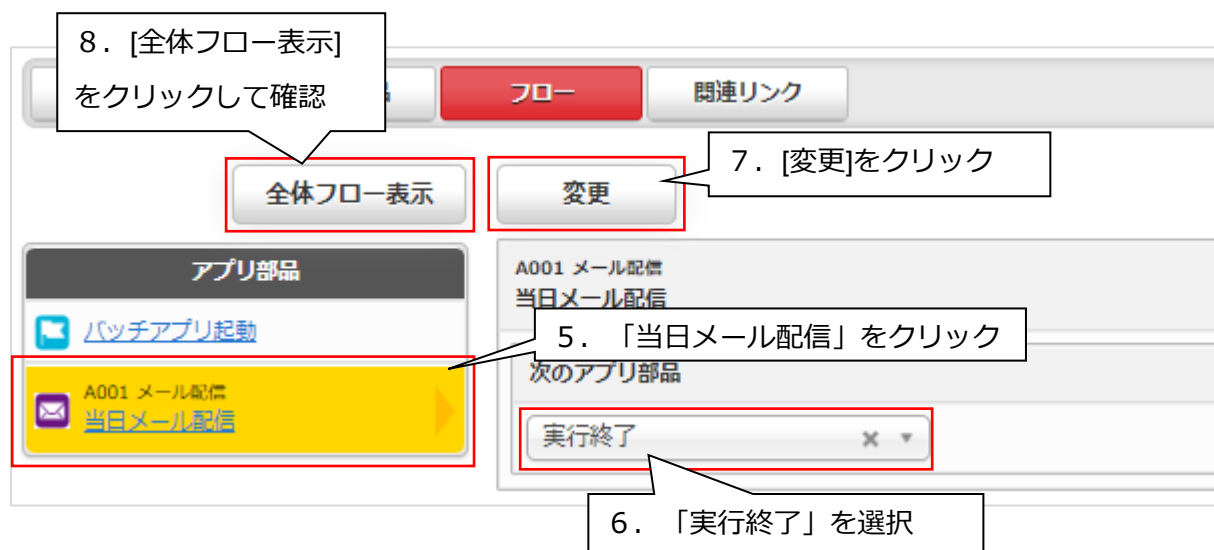
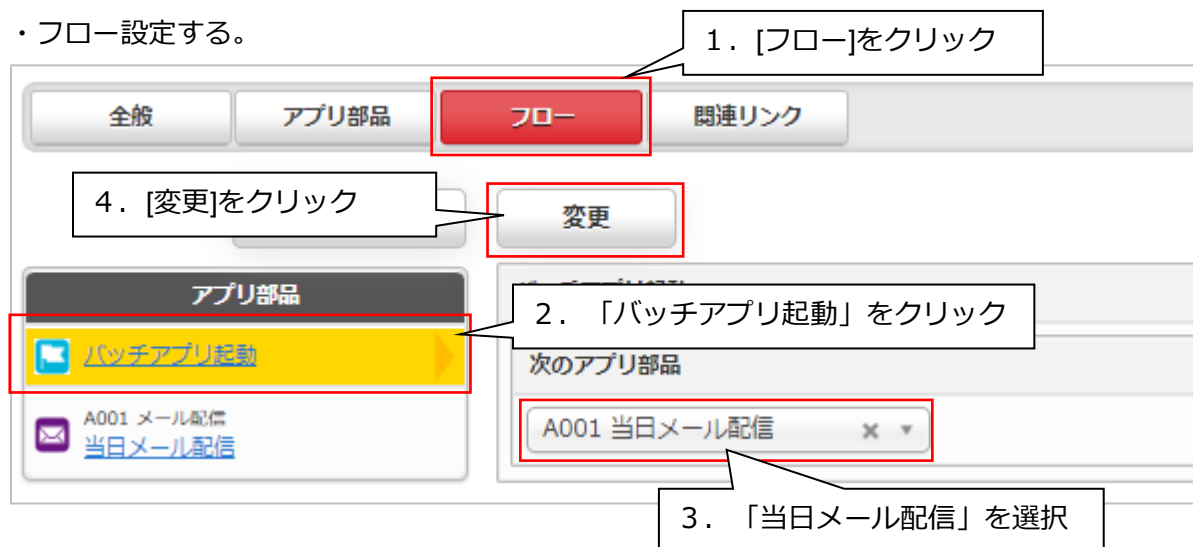
作業完了後は、下記 URL から、作業完了フラグを更新してください。

[https://cti.it-builder.jp/app/pfr\\_kanri/sagyo\\_hyouji?No=<管理番号>](https://cti.it-builder.jp/app/pfr_kanri/sagyo_hyouji?No=<管理番号>)

本メールは、送信専用です。返信にはお答えできませんのでご了承ください。

### 4.3 フロー設定

- ・フロー設定する。



- ・全体フローにて設定を確認する。

アプリ全体フロー		
アプリ部品	イベント・分岐条件	次のアプリ部品
バッチアプリ起動		A001 当日メール配信
A001 メール配信 当日メール配信	正常終了した場合	END 実行終了
実行終了		

## 5 動作確認

### 5.1 テストデータの登録

<データのイメージ>

管理番号	作業名称	作業内容	作業日	作業者	作業者メールアドレス	作業完了フラグ
(自動発番)	(任意)	(任意)	本日	自分	自分のメールアドレス	作業前
(自動発番)	(任意)	(任意)	本日	自分	自分のメールアドレス	作業前

・2.2章でインポートした「【チュートリアル】作業予定管理アプリ」を起動する。追加をクリックして、メール通知対象となる作業日＝本日のテストデータを2件登録する。

作業一覧

0件中0から0まで表示

先頭 前 次 最終 ページ:  ジャンプ

作業完了フラグ	管理番号	作業名称	作業内容	作業日	作業者
データはありません。					

先頭 前 次 最終 ページ:  ジャンプ

[追加]をクリック

追加

・テストデータを登録した状態。

2件中1から2まで表示

先頭 前 1 次 最終 ページ:  ジャンプ

作業完了フラグ	管理番号	作業名称	作業内容	作業日	作業者
作業前	<a href="#">S-00002</a>	(テスト) アプリ反映作業	最新版アプリを運用環境にリリースする。	2022/03/30	
作業前	<a href="#">S-00001</a>	(テスト) データバックアップ作業	データのバックアップを採取する。	2022/03/30	

先頭 前 1 次 最終 ページ:  ジャンプ

## 5.2 アプリ実行

- ・【チュートリアル】作業予定メール配信バッチを起動（実行）する。

アプリ設定 75 【チュートリアル】作業予定メール配信バッチ

1. 「有効」にする

2. [全般]をクリック

3. [即時起動]をクリック

有効 ☒ 無効 ☐

全般

変更 即時起動

基本設定 起動履歴

基本設定

アプリ名 必須 【チュートリアル】作業予定メール配信バッチ

起動条件

詳細ログ出力 必須 ☐ する ☒ しない

メール配信の動作 ☐ テストモードにする

アプリ概要

- ・起動履歴を確認する。

変更 即時起動

1. [起動履歴]をクリック

2. 実行結果を確認

基本設定 起動履歴

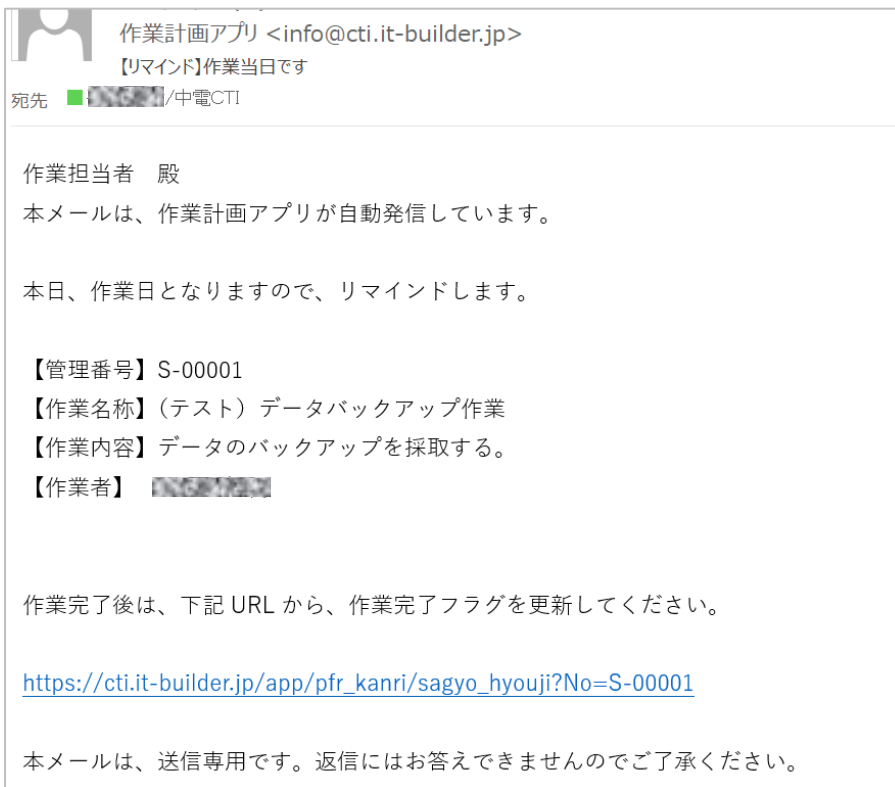
更新

実行開始日時	実行終了日時	状態	詳細
2022/03/30 17:49:35	2022/03/30 17:49:37	実行終了	17:49:35 バッチアプリ起動 17:49:37 バッチアプリ正常終了

- ・テストデータで登録した自分のアドレス宛に、メールが2通配信されたことを確認する。

※メール配信は、イット builder の一定間隔の処理で発信されるため、アプリのメール配信実行から実際にメール発信されるまで、最低2分のタイムラグがある。メールサーバーの状況により、メールが遅延する場合もある。

### <配信メールの例>



### 5.3 テストデータ修正

- ・作業管理アプリの更新画面にて、データの1件を「作業完了」に変更する。

#### <データのイメージ>

管理番号	作業名称	作業内容	作業日	作業者	作業者メールアドレス	作業完了フラグ
(自動発番)	(任意)	(任意)	本日	自分	自分のメールアドレス	作業前
(自動発番)	(任意)	(任意)	本日	自分	自分のメールアドレス	作業完了

「作業完了」に変更する

### 5.4 アプリ再実行

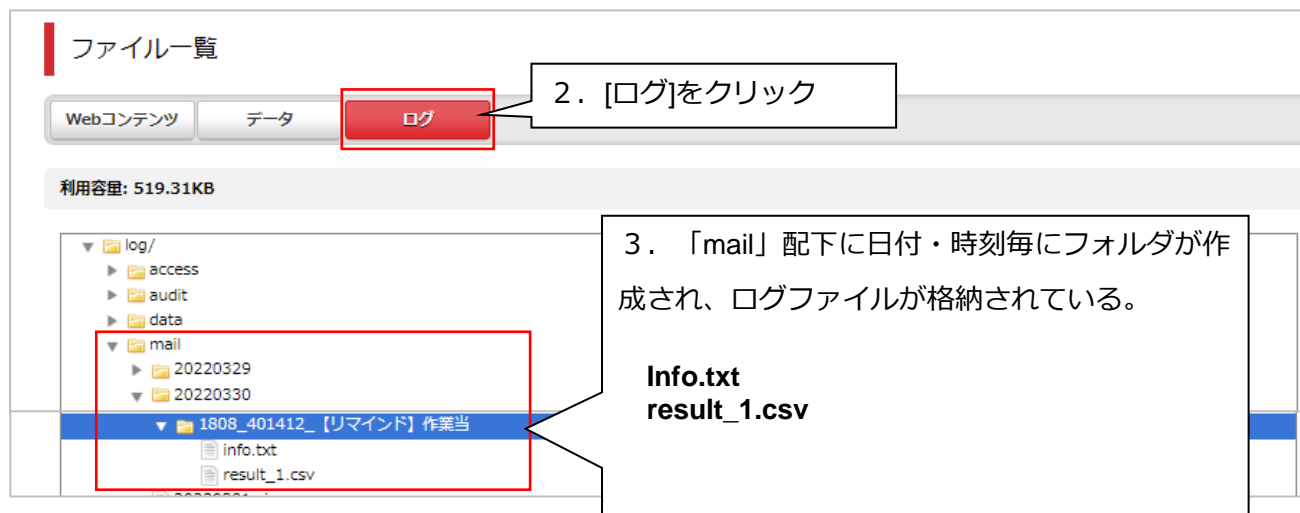
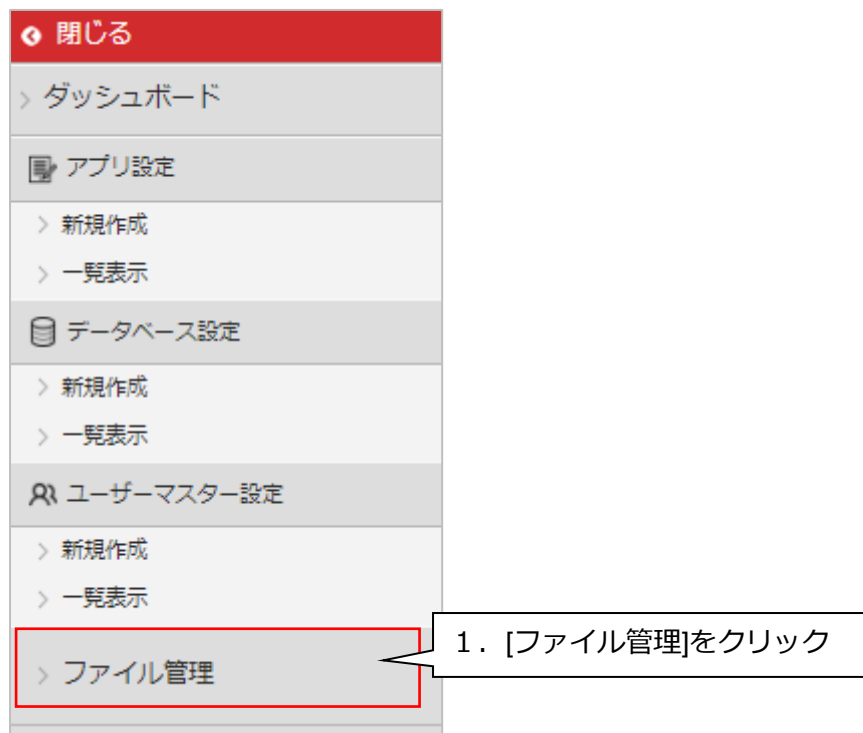
アプリを再度、即時起動する。

メール配信が1件になったことを確認する。

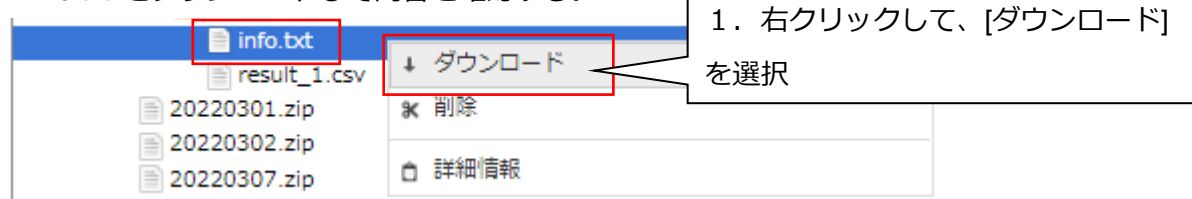
## 6 ログの見方

メールの発信ログを確認できる。

- ・ [menu]内の[ファイル管理]をクリックする。



- ・ info.txt をダウンロードして内容を確認する。



2. 発信メールのイメージ  
(置換タグは、置換前の状態)

From: info@cti.it-builder.jp  
Reply-To:  
Subject: 【リマインド】作業当日です  
Date: Wed, 30 Mar 2022 18:08:09 +0900  
作業担当者 殿  
本メールは、作業計画アプリが自動発信しています。

本日、作業日となりますので、リマインドします。

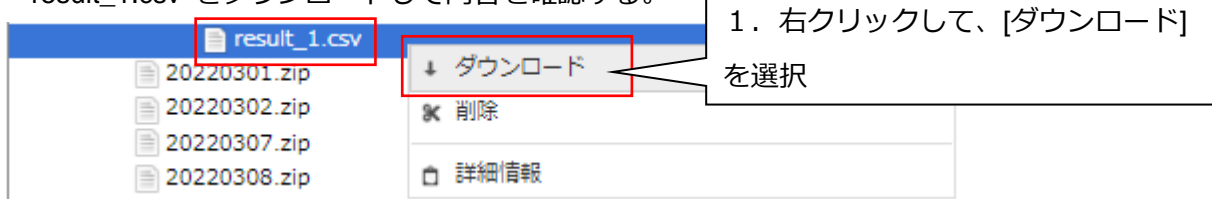
【管理番号】 {DATA:120,66,D001, 【チュートリアル】 作業計画 管理番号}  
【作業名称】 {DATA:120,66,D002, 【チュートリアル】 作業計画 作業名称}  
【作業内容】 {DATA:120,66,D003, 【チュートリアル】 作業計画 作業内容}  
【作業者】 {DATA:120,66,D005, 【チュートリアル】 作業計画 作業者}

作業完了後は、下記URLから、作業完了フラグを更新してください。

[https://cti.it-builder.jp/app/pfr\\_kanri/sagyo\\_hyouji?No={DATA:120,66,D001, 【チュートリアル】 作業計画 管理番号}](https://cti.it-builder.jp/app/pfr_kanri/sagyo_hyouji?No={DATA:120,66,D001, 【チュートリアル】 作業計画 管理番号})

本メールは、送信専用です。返信にはお答えできませんのでご了承ください。

- ・ result\_1.csv をダウンロードして内容を確認する。



2. メール発信履歴

	A	B	C
1	#宛先	メール配信日時	結果
2	XXXXXXXXXX@cti.co.jp	2022/3/30 18:08	完了
3	XXXXXXXXXX@cti.co.jp	2022/3/30 18:08	完了

※あくまで「発信」の履歴であり、宛先への到達を保証するものではない。

## 7 テストモード

メール配信動作には、テストモードが用意されている。テストモードでは、アプリ部品で設定した配信先ではなく、常にアプリの全般画面で設定したアドレスへ配信される。アプリ開発中の動作確認など、実際の配信宛先にメール発信したくない場合に利用する。

※テスト完了後は、テストモードの解除を忘れないように！

- ・メール配信部品を含むアプリの[全般]で設定する。

The screenshot shows the '全般' (General) tab of an application's settings. The interface includes a top navigation bar with '全般' and 'アプリ部品' tabs, and a left sidebar with '基本設定' and '起動履歴' options. The main content area contains several settings:

- 1. [全般]をクリックする**: Points to the '全般' tab in the top navigation bar.
- 2. [基本設定]をクリックする**: Points to the '基本設定' option in the left sidebar.
- 3. チェックする**: Points to the 'テストモードにする' checkbox, which is checked.
- 4. テストモードで配信するアドレスを設定する。複数アドレスを設定する場合は、1行1アドレスで入力する。**: Points to the text input field for email addresses.
- 5. [変更]をクリックする**: Points to the '変更' (Change) button at the top left of the settings area.

Additional visible text in the interface includes:

- アプリ名: 【チュートリアル】作業予定メール配信バッチ
- 起動条件: (Empty text area)
- 詳細ログ出力: 必須, する (radio), しない (radio)
- メール配信の動作: テストモードにする (checked), メール配信アプリ部品を実行した際に、指定の配信先ではなく、常に以下で設定したメールアドレスに配信されます。 ※アプリの動作を確認する際に利用します。
- メモ: (Empty text area)

## <テストモード配信されるメールの例>



作業計画アプリ <info@cti.it-builder.jp>  
【リマインド】作業当日です  
宛先 /中電CTI

作業担当者 殿  
本メールは、作業計画アプリが自動発信しています。

本日、作業日となりますので、リマインドします。

【管理番号】  
【作業名称】  
【作業内容】  
【作業者】

※置換タグ挿入のデータの取得元で「データベースから取得した値」を選択した項目は、テストモードでは置換タグは挿入されない。

作業完了後は、下記 URL から、作業完了フラグを更新してください。

[https://cti.it-builder.jp/app/pfr\\_kanri/sagyo\\_hyouji?No=](https://cti.it-builder.jp/app/pfr_kanri/sagyo_hyouji?No=)

本メールは、送信専用です。返信にはお答えできませんのでご了承ください。

-----  
これ以降は宛先の確認用情報です、メール本文ではありません。  
-----

【宛先】  
@cti.co.jp

【配信予定数】  
1 件

宛先確認用情報が付加される。

## 8 起動条件の設定 指定日時に定期的に実行する

バッチアプリを、定期的に実行したい、特定の日時に実行したいなど、起動条件を設定できる。

The screenshot shows the 'Batch Application Settings' window. The 'General' tab is selected. The 'Basic Settings' section is expanded. The 'Start Conditions' field is highlighted with a red box and contains the text '07\*\*\*'. Callouts indicate the following steps:

1. [全般]をクリック
2. [基本設定]をクリック
3. 起動条件を入力する。  
毎日午前 7:00 に起動したい場合は  
「07\*\*\*」と記述する。  
0分 7時 毎日 毎月 曜日問わず実行という指定となる。（詳細は後述）
4. [変更]をクリック

<起動条件の書き方> ※ 1 分毎に起動といった高負荷につながる設定は避ける。

左から、[分][時][日][月][曜日]の順に記載する。（各項目は半角スペースで区切る）

- ・分は 0～59 の数字で指定  
「10\*\*\*\*」と入力すると「毎時 10 分に実行」となる。
- ・時は 0～23 の数字で指定  
「10 22\*\*\*\*」と入力すると「毎日 22 時 10 分に実行」となる。
- ・日は 1～31 の数字で指定  
「10 22 1\*\*\*\*」と入力すると「毎月 1 日の 22 時 10 分に実行」となる。
- ・月は 1～12 の数字で指定  
「10 22 1 1\*\*\*\*」と入力すると「1 月 1 日の 22 時 10 分に実行」となる。
- ・曜日は数字で指定し、0 が日曜日、1 以降は順に、月、火、水、木、金、土となる  
「10 22 1 \* 0,1」 と入力すると「毎月 1 日と毎週日曜日と月曜日の 22 時 10 分に実行」となる。

## 9 アプリ応用のヒント 前日通知、未実施通知

今回のアプリでは 作業日 = 当日 をメール配信対象としたが、条件を変更することで前日に事前通知、翌日以降に未実施を警告、などに応用できる。

当日メール配信部品をコピーして、作業日の条件設定を変更する。

(メール件名や本文も、あわせて変更する。部品のフロー設定も追加・変更する)

### <応用例 1>

- ・前日に事前通知・・・作業日 = (システム日付 + 1 日) ※作業日が明日のもの

**絞り込み条件設定**

対象	必須	66 【チュートリアル】 作業計画 D004 作業日
条件	必須	と等しい「=」
値		システム日時 年月日時のフォーマット YYY/MM/DD 年月日時の増減 + 1 日

作業日 = (システム日付 + 1 日)

### <応用例 2>

- ・翌日以降に未実施を警告・・・作業日 < システム日付 ※作業日が本日より前のもの

**絞り込み条件設定**

対象	必須	66 【チュートリアル】 作業計画 D004 作業日
条件	必須	より小さい「<」
値		システム日時 年月日時のフォーマット YYY/MM/DD 年月日時の増減 - 0 年

作業日 < システム日付

<応用例追加後のアプリ部品>

+ 追加

削除

コピー

並順更新

アプリ部品

☐

A002 メール配信  
前日メール配信

☐

A001 メール配信  
当日メール配信

☐

A003 メール配信  
翌日以降メール配信

変更

機能設定

配信先

アプリ部品ID

A002

アプリ部品種別

メール配信

アプリ部品名

必須

前日メール配信

差出人アドレス

必須

info

@

cti.it-builder.jp

差出人名

作業計画アプリ

返信アドレス

件名

必須

【リマインド】作業前日です

作業担当者 殿

本メールは、作業計画アプリが自動発信しています。

作業日の1日前となりますので、リマインドします。

アプリ全体フロー



以上